

「大阪府民の政治参加・選挙に関する世論調査」

報告書

2012 年 12 月

「大阪府民の政治参加・選挙に関する世論調査」研究プロジェクト

研究代表者：松谷満（中京大学）

1. 調査の概要

大阪では、橋下徹氏が府知事に就任以降、これまでとは大きく異なる手法や政策の導入によって、政治が大きく変化しました。このような政治状況は、日本社会がかつて経験したことのないものであり、全国的にも大きな注目を集めました。

わたしたちは、とくに 2011 年の選挙について、大阪府民がどのように考え、どのように行動したのか、しっかりと記録し、学術的な立場から検討を行いたいと考えました。また、こうした調査研究は、先行き不透明な日本政治の今後を展望するうえでも少なからず意味を持つのではないかと考えております。

本調査では、大阪府在住の **2,400 名** の皆様に調査へのご協力をお願いしました。大阪市 4 区（東淀川区、生野区、城東区、東住吉区）および府下 4 市（豊中市、高槻市、枚方市、岸和田市）の計 8 区市を対象として選びました。そのうえで、各区市からそれぞれ 300 名の皆様を選挙人名簿の閲覧によって選ばせていただきました。抽出は、どの方も等しい確率で選ばれるような方法で行いました。

2011 年 12 月に質問用紙を郵便でお送りし、合計 **772 名** の皆様にご回答いただくことができました。ご協力いただいた方の内訳は、男性 376 名（49.0%）、女性 391 名（51.0%）、20 歳代 63 名（8.3%）、30 歳代 93 名（12.2%）、40 歳代 129 名（16.9%）、50 歳代 138 名（18.1%）、60 歳代 187 名（24.5%）、70 歳代 153 名（20.1%）でした。

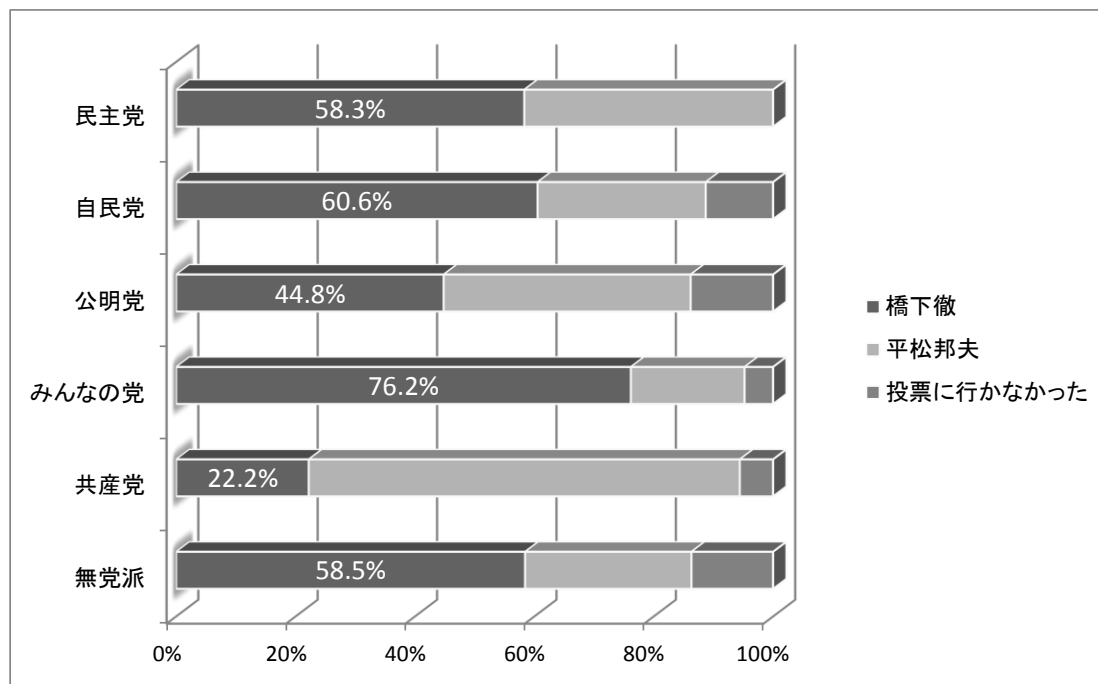
本報告書では、以下、(1) 2011 年知事選・市長選、(2) 橋下氏の政策評価、という 2 つの観点から、調査の結果をお示しします。

2. 分析（1）：2011年知事選・市長選について

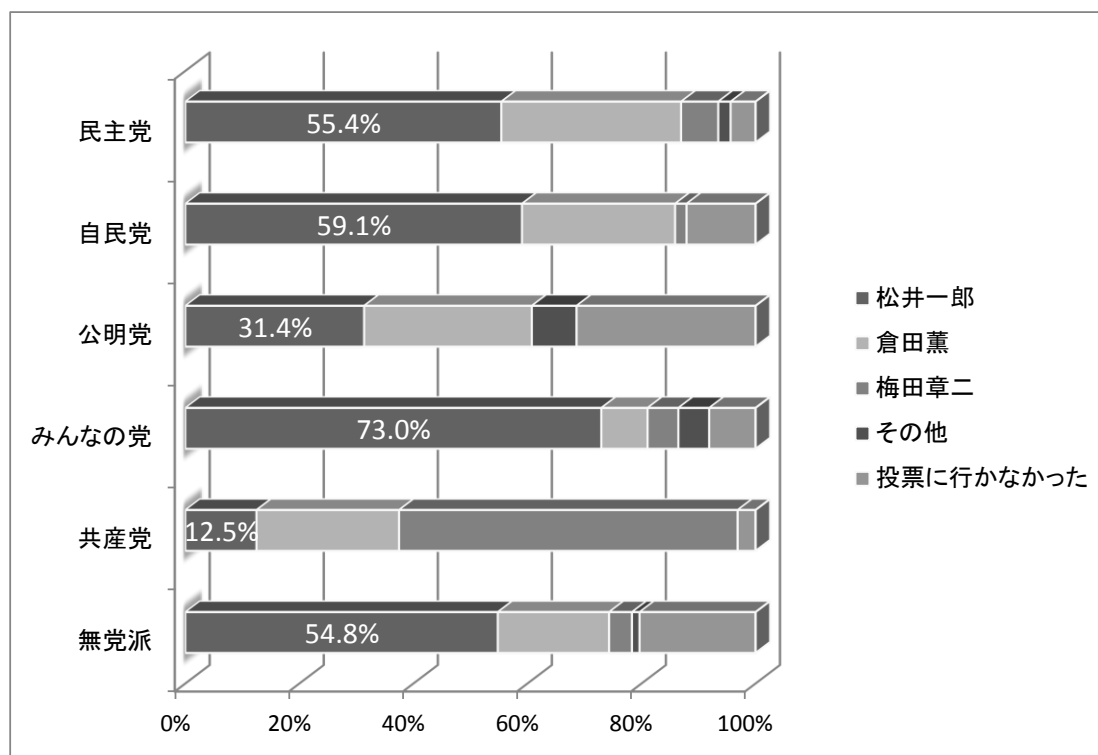
2011 年 11 月に行われた知事選・市長選のダブル選挙では、知事選で松井一郎氏、市長選で橋下徹氏という大阪維新の会の候補者が大差で当選を果たしました。いずれも既成政党が支援した対立候補を組織的基盤のない候補が破ったという結果で、地方選挙ではあまり例のない出来事であったといえます。では、知事選・市長選での投票行動にはどのような特徴がみられたのでしょうか。

①②は支持政党別の投票行動です。**無党派層だけでなく、民主党と自民党の支持層でも過半数が橋下氏、松井氏に投票したと回答しています。**このように支持政党に関係なく投票が行われたことがうかがえます。

① 市長選の投票行動（支持政党別）

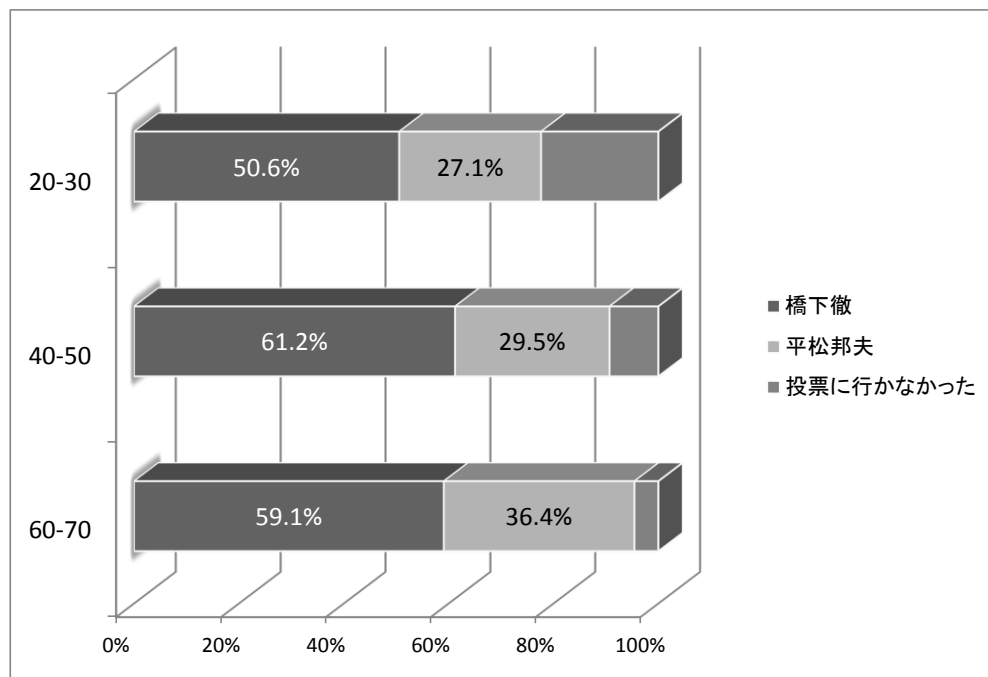


② 知事選の投票行動（支持政党別）

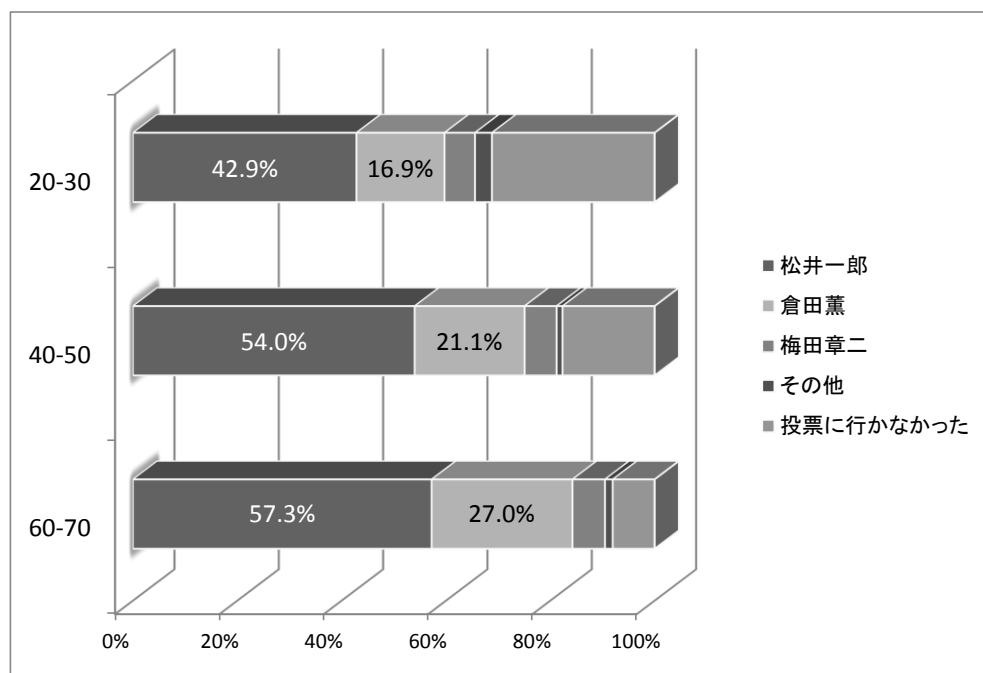


③④は年代別の投票行動です。市長選では 40-50 代でとくに橋下氏の得票率が高いことがわかります。20-30 代は投票率こそ低いですが、得票率では橋下氏、松井氏が圧倒しています。つまり、**50 代までの現役世代でとくに得票差が大きかった**といえます。

③ 市長選の投票行動（年代別）

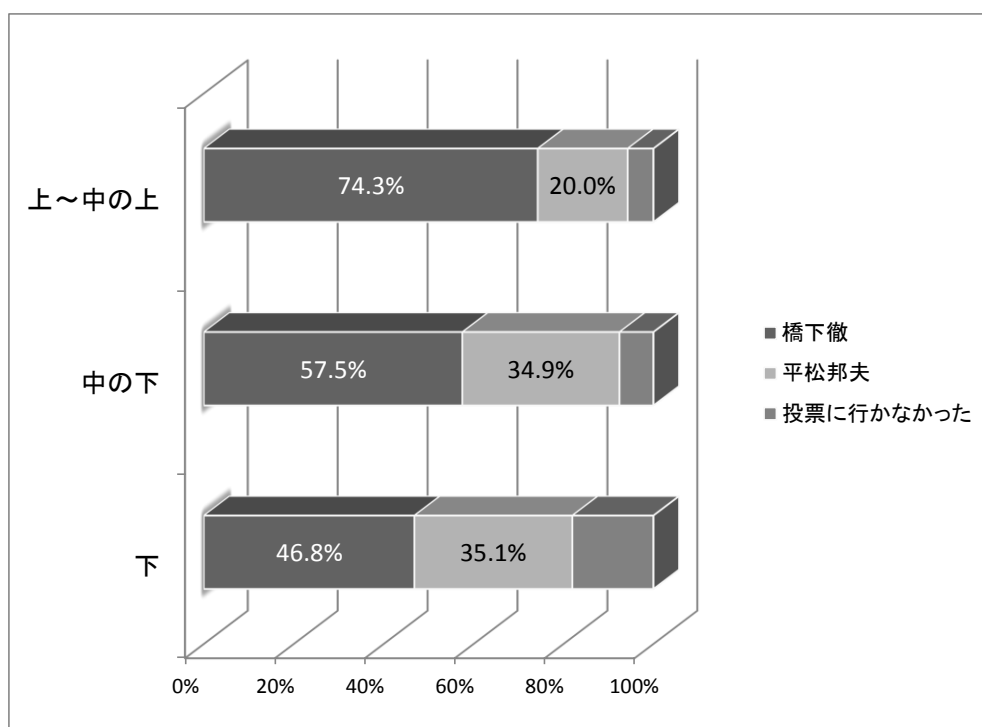


④ 知事選の投票行動（年代別）

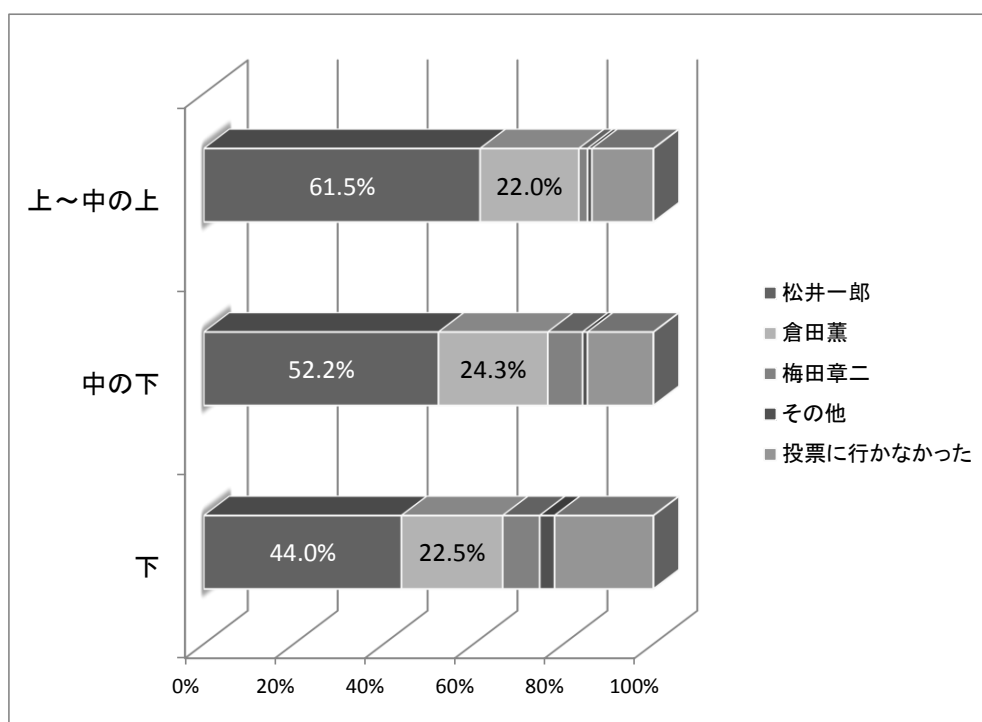


学歴や収入では投票行動に違いはみられませんでした。が、階層意識（上～下でみた場合、自分がどこに位置しているか）では明確な違いがでました（⑤⑥）。上層の人ほど橋下氏、松井氏に投票し、下層の人ほど彼らに投票しなかったということがわかります。

⑤ 市長選の投票行動（階層意識別）

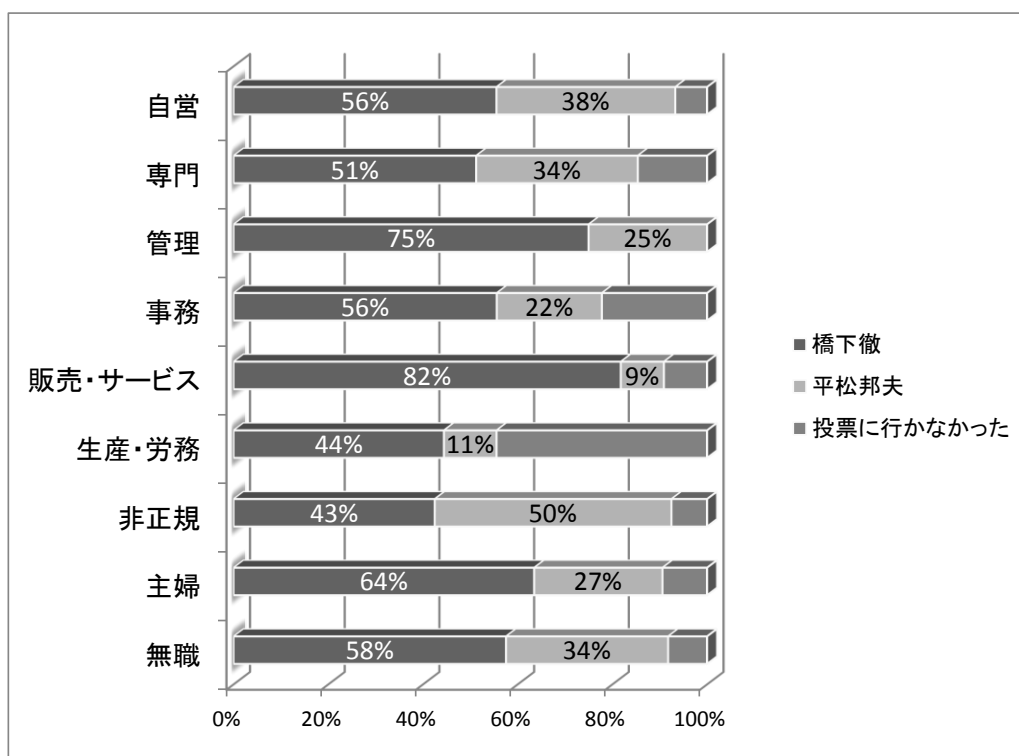


⑥ 知事選の投票行動（階層意識別）

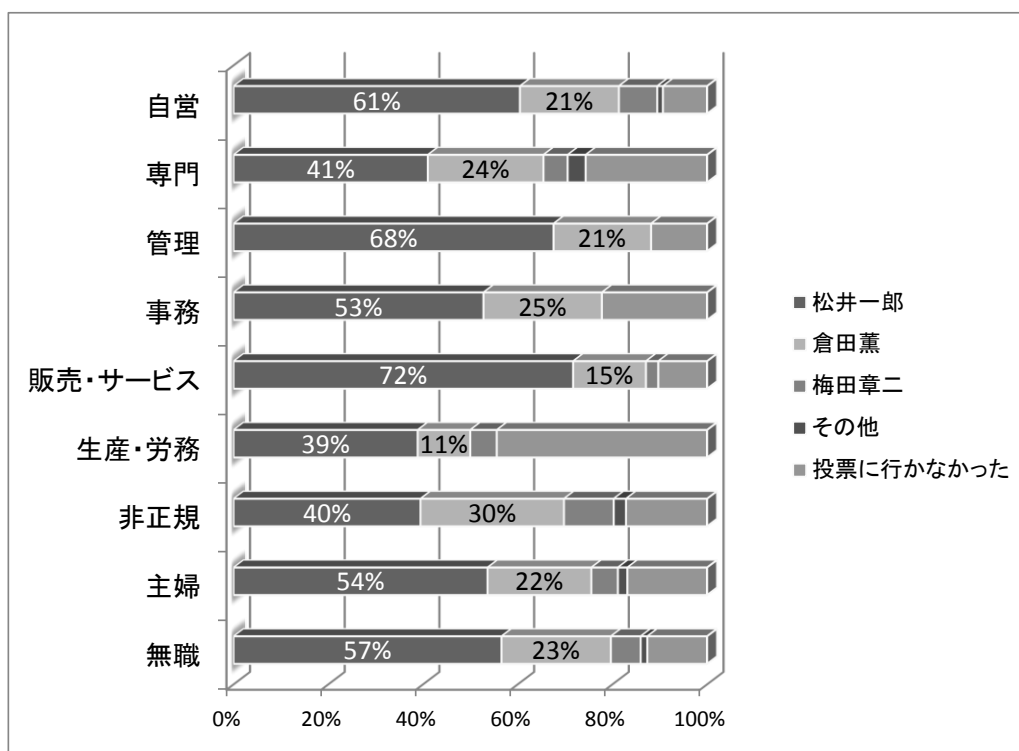


職業によっても投票行動に違いがあったことがわかります(⑦⑧)。ただし、職業ごとの人数が少ないため、あくまでも参考程度とお考えください。

⑦ 市長選の投票行動（職業別）

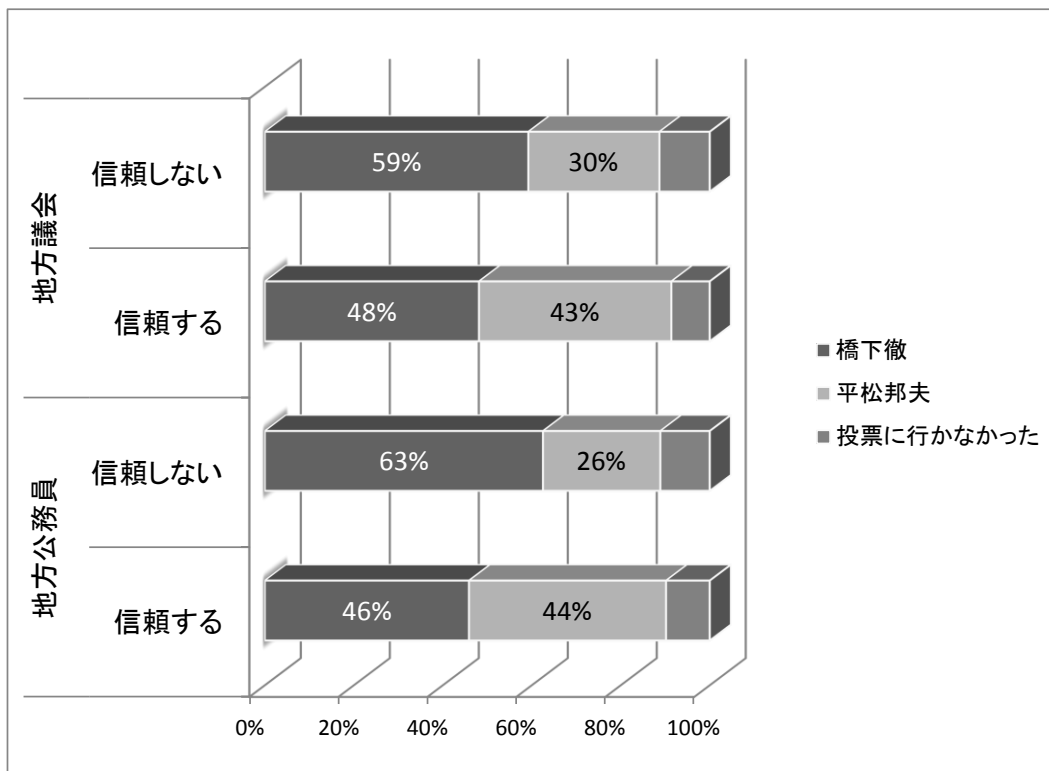


⑧ 知事選の投票行動（職業別）

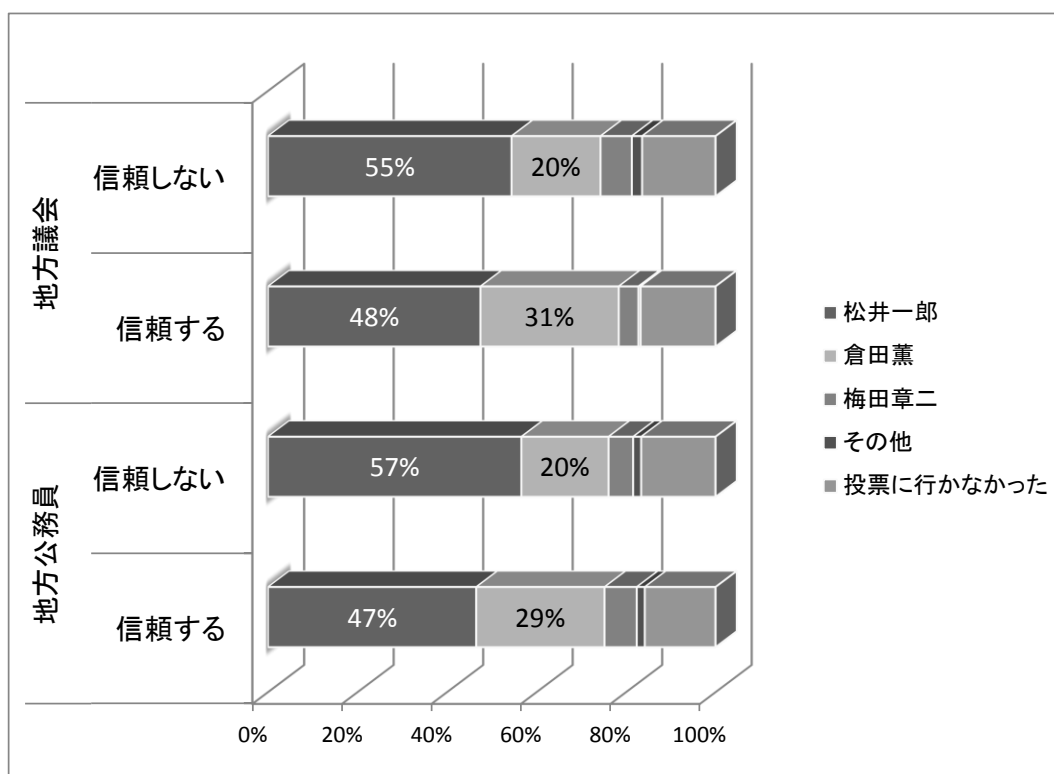


橋下氏は議会や公務員を批判することによって支持を得たと指摘されますが、調査結果からも、**議会や公務員を信頼しない人のほうが橋下氏、松井氏により多く投票した**ことがわかります（⑨⑩）。

⑨ 市長選の投票行動（議会・公務員への不信感）

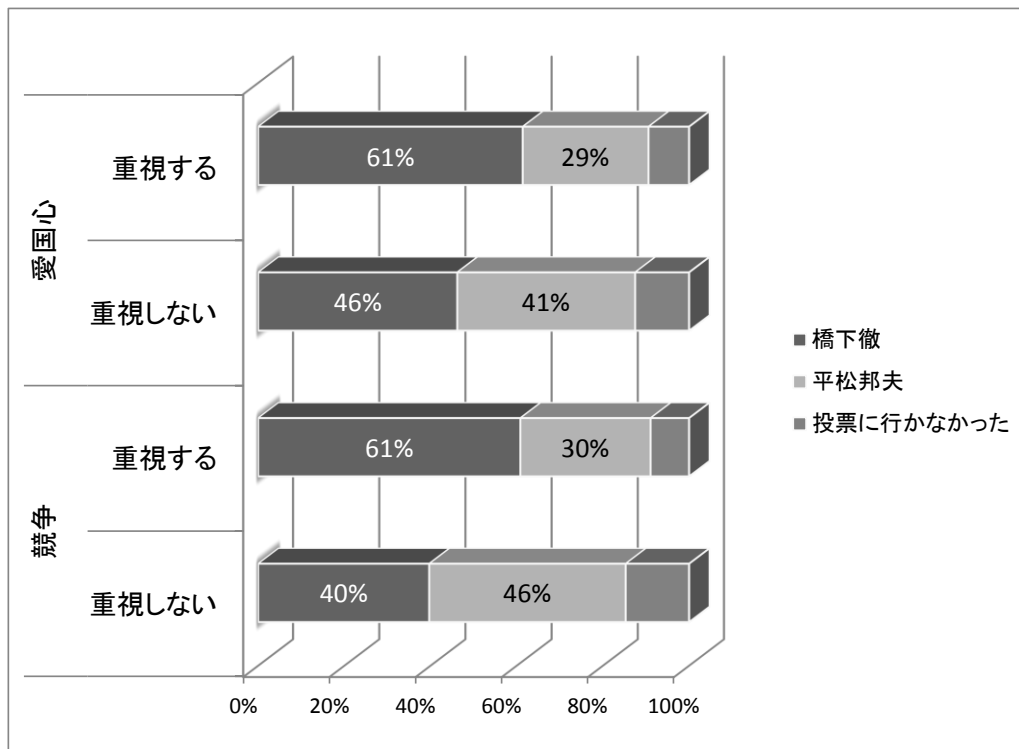


⑩ 知事選の投票行動（議会・公務員への不信感）

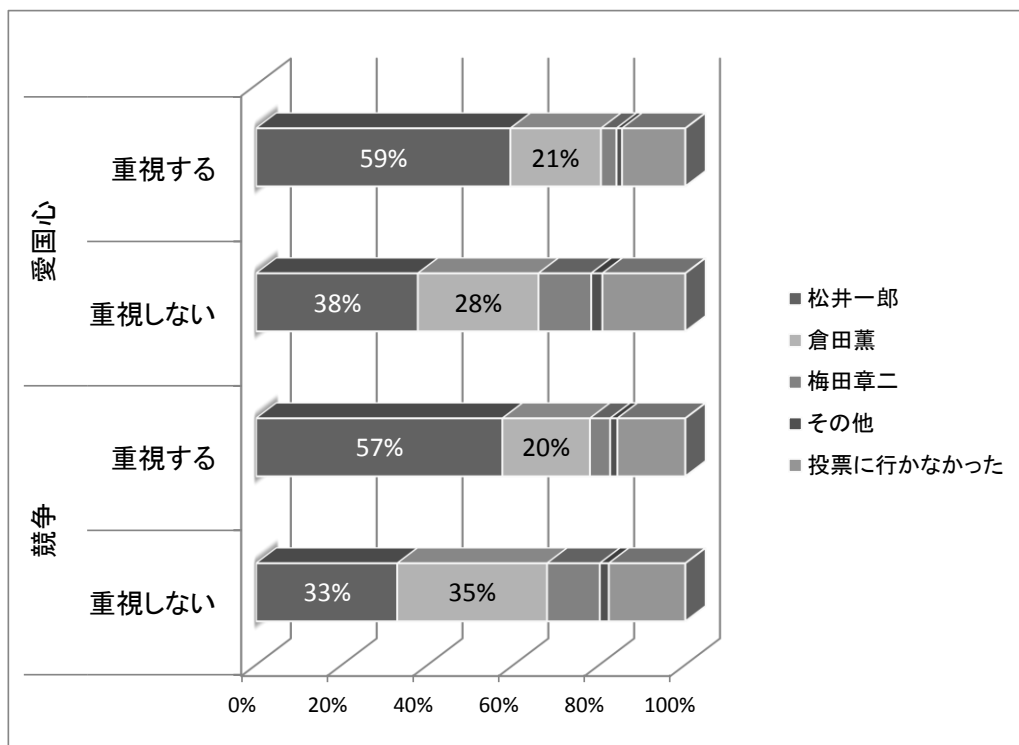


価値観も投票行動に影響しました。愛国心を重視するかどうか、競争を重視するかどうかといった意識の違いが投票行動に反映しています（⑪⑫）。

⑪ 市長選の投票行動（価値観）



⑫ 知事選の投票行動（価値観）

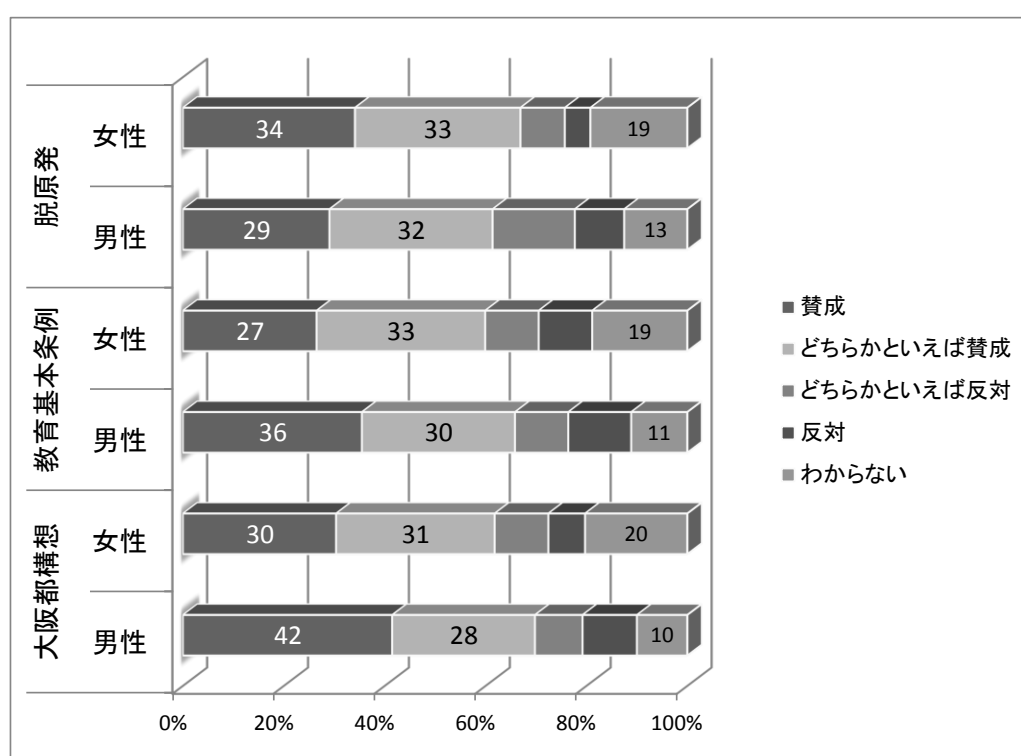


3. 分析（2）：橋下氏の政策について

橋下氏は、既存の政治とは異なる大胆な政策を掲げたことで注目を集めました。ここでは、(1) 大阪都構想、(2) 教育基本条例、(3) 脱原発依存の3つの政策がとくにどのような人々に支持されたのかを分析します。

第一に、性別との関連です(⑬)。どの政策についても女性で「わからない」という回答が多くなっています。一方、男性では大阪都構想、教育基本条例に「賛成」の回答が多いという特徴があります。脱原発依存については女性のほうがやや「賛成」が多いという違いがみられました。

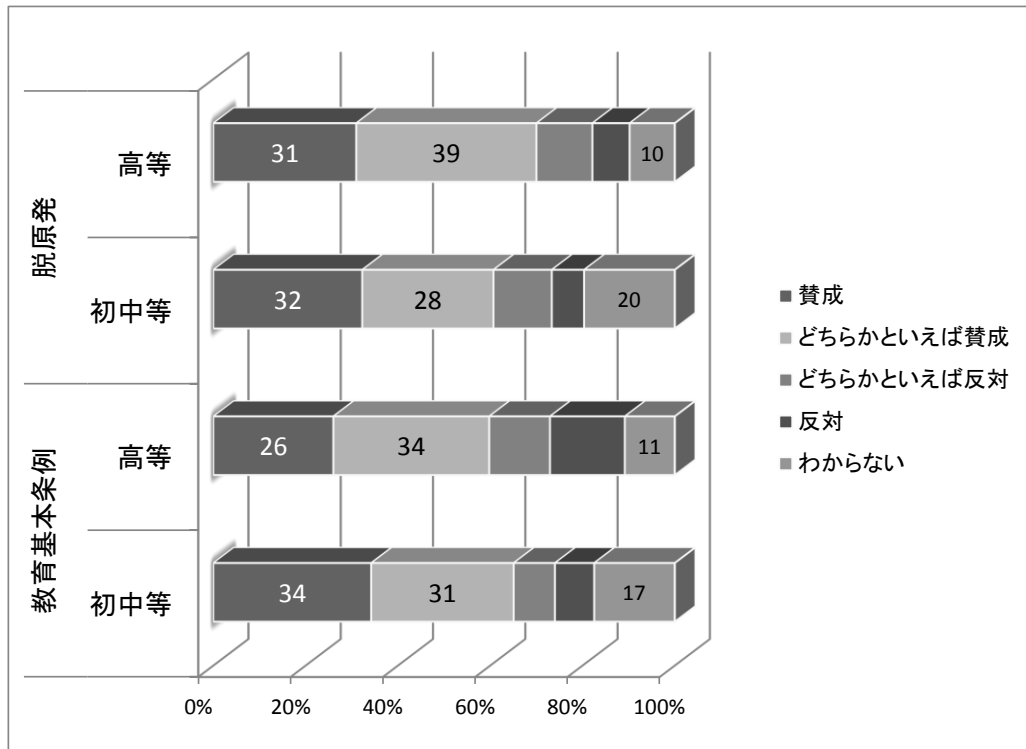
⑬ 政策評価（性別）



第二に、学歴との関連です(⑭)。初中等学歴（中学卒、高校卒）、高等学歴（短大・大学卒）でわけてみると、教育基本条例では初中等学歴のほうが賛成の割合（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）が高く、脱原発依存では高等学歴のほうが賛成の割合が高いことがわかります。

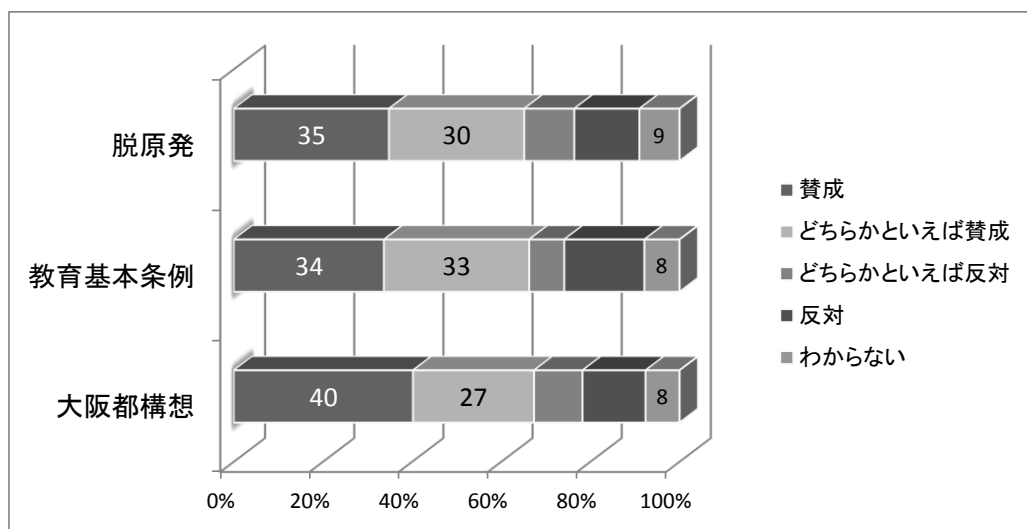
第三に、職業との関連です（グラフは省略）。大阪都構想、教育基本条例ともに、管理職、生産・労務（ブルーカラー）で賛成の割合がめだって高く、事務職、販売・サービス職（ホワイトカラー）でも賛成の割合が相対的に高いことがわかりました。一方、専門職はこれらの政策に否定的であり、非正規雇用層では「わからない」という回答が多くみられました。

⑭ 政策評価（学歴別）

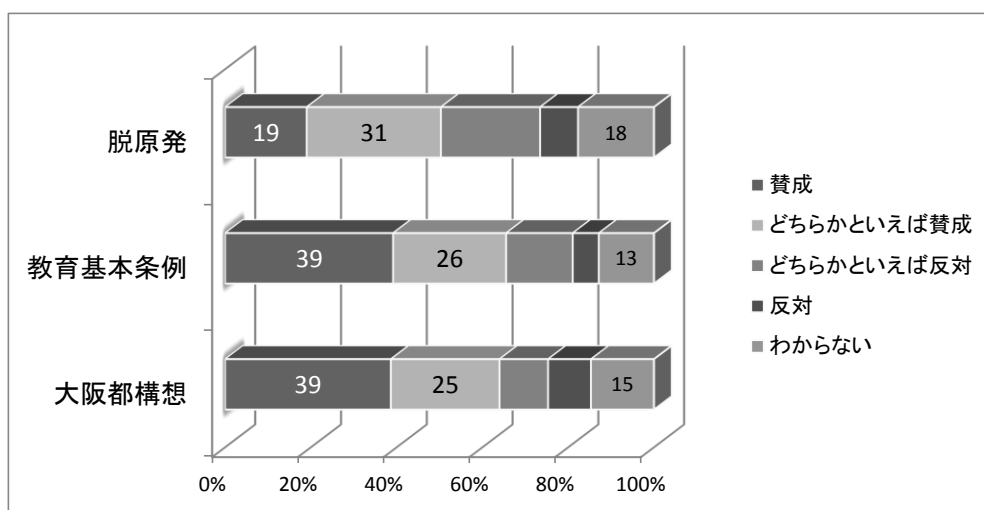


第四に、支持政党との関連です。民主党支持層はどの政策でもおおむね賛成、自民党支持層は大阪都構想、教育基本条例にはおおむね賛成だが、脱原発依存にはあまり賛成しない傾向があります。公明党支持層は「わからない」という回答がどの政策についても多いようです。共産党支持層は大阪都構想、教育基本条例には反対、脱原発依存には賛成という傾向がみられます。みんなの党支持層はすべてに「賛成」という回答がかなり多くなっています。

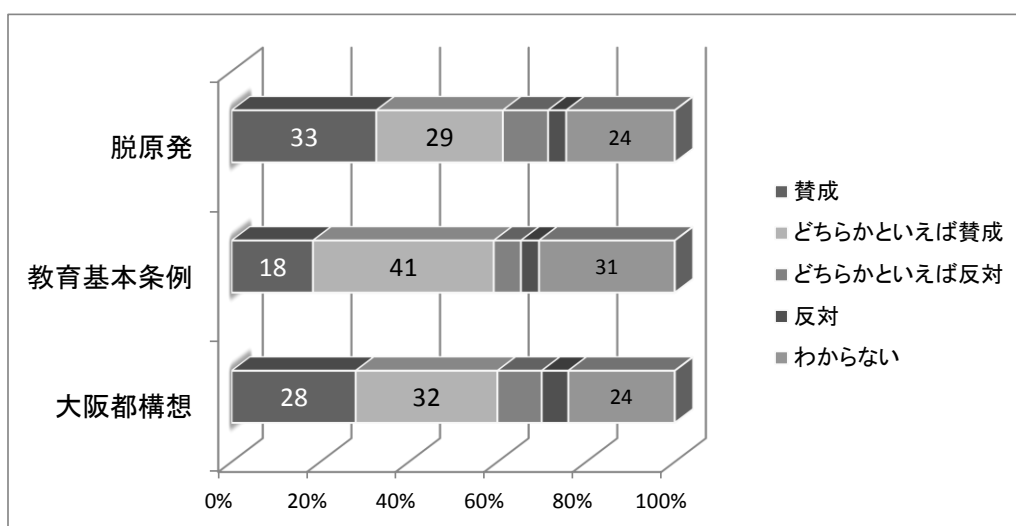
⑮ 政策評価（民主党支持層）



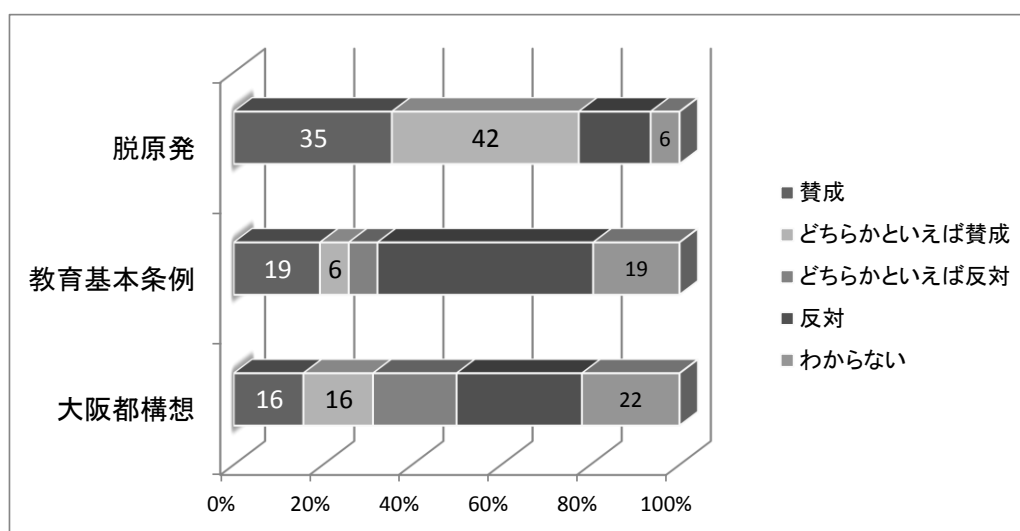
⑯ 政策評価（自民党支持層）



⑰ 政策評価（公明党支持層）



⑱ 政策評価（共産党支持層）



4. まとめ

以上、簡単ながら、選挙での投票行動、橋下氏の政策への評価について、こういった要因がその違いを生み出しているのかを分析しました。

市長選、知事選では無党派層だけではなく、既成政党の支持層も半数以上が橋下氏、松井氏に投票をしていました。相対的にはとくに現役世代でどちらかといえば上の階層に位置していると考えている人々が彼らに多く投票したことがわかりました。

有権者の意識に注目するならば、やはり地方議会や地方公務員への不信任感が橋下氏、松井氏への投票を促す要因であったことがわかりました。ただ、そればかりではなく、有権者の価値観、とくに愛国心や社会における競争を重視するような意識が橋下氏、松井氏への投票につながったことがわかりました。

一方、政策についての評価では、性別、学歴、職業による違いがあることがわかりました。大阪都構想、教育基本条例はとくに男性、初中等学歴層、管理職、専門職以外の正規雇用層に支持されています。脱原発依存は女性、高等学歴層に支持されています。また、支持政党による違いもはっきりと確認することができました。

本調査については、他の観点からの分析も可能であり、引き続き貴重なデータを活用させていただき、その結果を公表していきたいと考えております。

学术论文など詳細な分析結果については、これまで以下のものを発表いたしました。3については、ご連絡いただけましたら郵送にてお送りすることも可能です。

1. 松谷満「誰が橋下を支持しているのか」『世界』832号、103-112ページ、2012年。
2. 松谷満「「橋下改革」にすら期待できない「弱者」たち——大阪市長選を分析する」『Posse』15号、111-117ページ、2012年。
3. 松谷満「『ポピュリズム』の支持構造」『歴史評論』751号、36-47ページ、2012年。

* 「ポピュリズム」という用語は、単なる批判の言葉ではなく、特定の政治的なスタイルを指す学術用語として用いています。

5. 調査回答の単純集計

・数値はパーセントを表しています。一部、平均値で表しているものもあります。

問1 11月27日に行われた**大阪府知事選**において、あなたはどの候補者に投票しましたか。

- | | | | | | |
|------------|------|--------------|------|---------|-----|
| 1. 松井一郎 | 52.9 | 2. 倉田薫 | 23.0 | 3. 梅田章二 | 6.2 |
| 4. その他の候補者 | 1.7 | 5. 投票に行かなかった | 16.2 | | |

問2 府知事選で誰に投票するかを決める際、一番重視したことは何ですか。

- | | | | |
|-------------|------|-----------|------|
| 1. 政党の推薦・支持 | 25.2 | 2. 候補者の政策 | 47.8 |
| 3. 候補者の人柄 | 11.2 | 4. 投票依頼 | 1.7 |

問3 **3年前**の2008（平成20）年1月27日に行われた**大阪府知事選**において、あなたはどの候補者に投票しましたか。

- | | | | | | |
|------------|------|--------------|------|---------|-----|
| 1. 橋下徹 | 68.1 | 2. 熊谷貞俊 | 5.8 | 3. 梅田章二 | 7.9 |
| 4. その他の候補者 | 3.6 | 5. 投票に行かなかった | 14.6 | | |

問4 4月10日に行われた**大阪府議選**において、あなたはどの政党の候補者に投票しましたか。

- | | | | | | |
|-----------|------|--------|------|--------------|------|
| 1. 大阪維新の会 | 38.9 | 2. 民主党 | 14.7 | 3. 自民党 | 9.3 |
| 4. 公明党 | 7.2 | 5. 共産党 | 6.2 | 6. みんなの党 | 2.6 |
| 7. 社民党 | 1.1 | 8. 無所属 | 2.7 | 9. 投票に行かなかった | 17.4 |

問5 府議選で誰に投票するかを決める際、一番重視したことは何ですか。

- | | | | |
|-------------|------|-----------|------|
| 1. 候補者の所属政党 | 44.6 | 2. 候補者の政策 | 33.9 |
| 3. 候補者の人柄 | 8.4 | 4. 投票依頼 | 4.1 |

問6 あなたは現在、どちらにお住まいですか。

- | | | | | | | | |
|---------|------|--------|------|--------|------|---------|------|
| 1. 東淀川区 | 12.7 | 2. 生野区 | 11.0 | 3. 城東区 | 12.6 | 4. 東住吉区 | 13.0 |
| 5. 豊中市 | 11.8 | 6. 高槻市 | 13.9 | 7. 枚方市 | 12.2 | 8. 岸和田市 | 11.8 |

問 7 【大阪市内にお住まいの方のみ】 1 1 月 2 7 日に行われた**大阪市長選**において、あなたはどの候補者に投票しましたか。

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 橋下徹 57.3 | 2. 平松邦夫 32.3 |
| 3. 投票に行かなかった 10.4 | |

問 8 市長選で誰に投票するかを決める際、一番重視したことは何ですか。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 政党の推薦・支持 8.3 | 2. 候補者の政策 60.5 |
| 3. 候補者の人柄 19.5 | 4. 投票依頼 1.2 |

問 9 【大阪市内にお住まいの方のみ】 **4 年前**の 2007（平成 1 9）年 1 1 月 1 8 日に行われた**大阪市長選**において、あなたはどの候補者に投票しましたか。

- | | | |
|--------------|-------------|-------------------|
| 1. 平松邦夫 58.8 | 2. 關淳一 13.6 | 3. 姫野浄 1.8 |
| 4. 橋爪紳也 0.9 | 5. 藤井永悟 0.0 | 6. 投票に行かなかった 24.8 |

問 1 0 【大阪市内にお住まいの方のみ】 4 月 1 0 日に行われた**大阪市議選**において、あなたはどの政党の候補者に投票しましたか。

- | | | |
|-------------------|-------------|------------|
| 1. 大阪維新の会 36.8 | 2. 民主党 19.1 | 3. 自民党 9.4 |
| 4. 公明党 10.5 | 5. 共産党 5.7 | 6. 無所属 2.0 |
| 7. 投票に行かなかった 16.5 | | |

問 1 1 市議選で誰に投票するかを決める際、一番重視したことは何ですか。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 候補者の所属政党 39.8 | 2. 候補者の政策 34.9 |
| 3. 候補者の人柄 11.2 | 4. 投票依頼 4.3 |

問 1 2 あなたは、橋下徹大阪市長を支持しますか、それとも、支持しませんか。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 支持する 49.3 | 2. ある程度支持する 30.7 |
| 3. あまり支持しない 12.2 | 4. 支持しない 7.9 |

問 1 3 【問 1 2 で「1. 支持する」「2. ある程度支持する」に○をつけた方のみ】

あなたが、橋下市長を支持する理由は何ですか。 よりあてはまるものを 2 つ選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 何かやってくれそうな期待感 54.8 | 2. わかりやすい語り口、本音の発言 22.3 |
| 3. リーダーシップ、実行力 65.8 | 4. さまざまな組織・団体との対決姿勢 17.7 |
| 5. 政治的な理念・思想 12.3 | 6. 具体的な政策 14.7 |

問 1 4 あなたは、それぞれの分野について、**橋下前知事時代の府政**をどう評価しますか。

	評価する 大いに	ある程度 評価する	評価しない あまり	まったく 評価しない	わからない
(ア) 経済・財政	27.5	44.3	11.6	3.9	12.4
(イ) 福祉	9.1	36.8	24.4	5.5	24.3
(ウ) 教育	21.8	37.0	18.0	8.0	15.2
(エ) 地方自治	23.3	38.8	12.7	5.1	20.2

問 1 5 あなたは、橋下市長・大阪維新の会が掲げる以下の政策・構想に賛成ですか、反対ですか。

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない
(ア) 大阪都構想	35.7	30.0	10.0	9.1	15.3
(イ) 教育基本条例	31.1	31.9	10.7	11.5	14.9
(ウ) 職員基本条例	41.8	27.9	9.1	7.6	13.4
(エ) WTC への大阪府庁舎移転	13.1	23.8	20.8	21.8	20.6
(オ) 脱原発依存	31.5	32.4	12.7	7.4	16.1

問 1 6 **今年の選挙は別にして**、ふだんこの地域の選挙（知事選挙、府議会議員選挙、市議会議員選挙）で、投票に行く頻度はどのくらいですか。

- | | | | |
|-------------------------|------|--------------|------|
| 1. 毎回必ず投票に行く | 56.3 | 2. だいたい投票に行く | 29.2 |
| 3. あまり投票に行かない | 8.7 | | |
| 4. ほとんど投票に行かない、行ったことがない | 5.8 | | |

問 1 7 **選挙のことは別にして**、ふだんあなたはどの政党を支持していますか。

- | | | | | | |
|----------|------|--------------|------|--------|-----|
| 1. 民主党 | 12.1 | 2. 自民党 | 19.6 | 3. 公明党 | 6.8 |
| 4. みんなの党 | 4.8 | 5. 共産党 | 4.3 | 6. 社民党 | 1.8 |
| 7. その他 | 0.3 | 8. 支持する政党はない | 49.5 | | |

問 1 8 あなたは以前、次の政党を支持していた時期はありますか。 **（複数回答）**

- | | | | | | | | |
|-----------------------|------|--------|------|--------|------|--------|-----|
| 1. 民主党 | 33.6 | 2. 自民党 | 48.3 | 3. 社会党 | 12.0 | 4. 民社党 | 3.8 |
| 5. これらの政党を支持していたことはない | | 27.4 | | | | | |

問 1 9 ここにあげる政党や政治家に対するあなたの好感度を 100 点満点でお答えください。最も好きな場合は 100 点、最も嫌いな場合は 0 点とし、好きでも嫌いでもない場合を 50 点とすると、あなたの気持ちは何点ですか。 **（平均値）**

（ア） 民主党 **（34.1）**

（イ） 自民党 **（39.1）**

（ウ） 共産党 **（24.3）**

（エ） 小泉純一郎元首相 **（57.8）**

（オ） 石原慎太郎東京都知事 **（53.3）**

（カ） 河村たかし名古屋市長 **（51.8）**

（キ） 橋下徹大阪市長 **（66.7）**

（ク） 平松邦夫前大阪市長 **（46.1）**

問 2 0 あなたは次にあげる（ア）～（オ）をどの程度信頼していますか。

	信 頼 す る 非 常 に	信 頼 す る や や	信 頼 し な い あ ま り	信 頼 し な い ま っ た く
（ア） 官僚	1.3	19.1	47.7	31.9
（イ） 地方公務員	1.6	36.2	47.7	14.5
（ウ） 地方議会	1.6	26.4	55.2	16.8
（エ） 労働組合	2.0	26.1	46.4	25.4
（オ） 市民運動	5.2	40.5	40.7	13.6

問 2 1 次にあげる意見について、あなたはどのように思いますか。

	そう 思う	やや そう 思う	どちらとも いえ ない	あまりそう 思 わ ない	そう 思 わ ない
(ア) 自分のようなふつうの市民には政府のすることを左右する力はない	26.7	22.5	20.6	18.2	11.9
(イ) 政治のことはやりたい人にまかせておけばよい	4.5	9.2	19.9	33.4	33.1
(ウ) 国民の意見や希望は、国の政治にほとんど反映されていない	38.7	36.3	16.8	6.3	2.0
(エ) ほとんどの政治家は、自分の得になることだけを考えて政治にかかわっている	49.8	32.2	11.2	5.8	1.0
(オ) どの党が政権を担っても大きな違いはない	33.9	31.0	15.5	11.2	8.4

問 2 2 次にあげる意見について、あなたはどのように思いますか。

	そう 思う	そう 思う やや	いえ ない どちら とも	あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない
(ア) 権威ある人々にはつねに敬意を払わなければならない	5.6	16.3	28.8	25.9	23.5
(イ) 伝統や慣習にしたがったやり方に疑問を持つ人は、結局は問題をひきおこすことになる	5.7	15.0	41.6	23.7	14.0
(ウ) この複雑な世の中で何をなすべきか知る一番よい方法は、指導者や専門家に頼ることである	4.5	19.4	35.6	27.8	12.7
(エ) 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	16.1	11.5	24.3	18.8	29.3
(オ) 同性どうしが、愛し合ってもよい	14.5	16.3	28.1	12.3	28.9
(カ) 男女が結婚しても、名字をどちらかに合わせる必要はなく、別々の名字のままでよい	15.0	15.7	24.2	17.0	28.1
(キ) 日本に永住する外国人には地方参政権を与えるべきである	18.7	23.1	20.4	13.0	24.8
(ク) 日本に定住する外国人が増加してもかまわない	9.8	17.4	30.1	24.3	18.4
(ケ) 日本に住む外国人が増えると、犯罪発生率が高くなる	17.4	32.6	31.1	12.0	7.0
(コ) 国旗・国歌を教育の場で教えるのは当然である	54.6	20.6	12.4	7.3	5.1
(サ) 日本人であることに誇りを感じる	56.0	26.4	12.0	3.7	1.8
(シ) 子どもたちにもっと愛国心や国民の責務について教えるように、戦後の教育を見直さなければならない	38.0	31.7	17.5	7.5	5.4
(ス) 人々の暮らし向きは、だんだんと悪くなってきている	31.8	39.4	20.0	6.7	2.1
(セ) 今の日本の社会には、希望がもてない	26.5	33.6	23.5	12.3	4.2

問23 政治的なことがらに対して、以下のような見方があります。あなたはAとBどちらの意見に近いですか。

		Aに近い	どちらかといえばA	どちらかといえばB	Bに近い	
(ア)	A 所得をもっと平等にすべき	8.1	40.5	41.6	9.7	B 個人の努力を促すため所得格差をもっとつけるべき
(イ)	A 生活に困っている人たちに手厚く福祉を提供する社会	11.7	34.2	39.6	14.5	B 自分のことは自分で面倒をみるよう個人が責任を持つ社会
(ウ)	A 税負担は大きいですが、福祉などの行政サービスが充実した社会	20.2	45.9	25.9	7.9	B 福祉などの行政サービスを必要最小限に絞り、税負担の少ない社会
(エ)	A 行政による規制を通じて、経済の安定を守る社会	9.7	44.2	36.6	9.5	B 規制を可能な限り排除し、民間の自由な活動と自己責任に委ねる社会
(オ)	A 競争は、社会の活力や勤勉のもとになる	22.6	57.3	16.1	4.0	B 競争は、格差を拡大させるなど、問題の方が多い
(カ)	A 首長（知事や市長）を選ぶなら、素人だが市民の代表	15.9	49.7	26.6	7.7	B 首長（知事や市長）を選ぶなら、市民の代表ではないが行政のプロ
(キ)	A 物事を決定する際、リーダーシップによるすばやい決定が重要	22.6	40.3	27.8	9.3	B 物事を決定する際、時間をかけて皆で話し合い、納得した結論を導くことが重要

問24 あなたは、政治に関心がありますか、ありませんか。

- | | | | |
|-------------|------|--------------|------|
| 1. 非常に関心がある | 18.4 | 2. ある程度関心がある | 64.4 |
| 3. あまり関心がない | 15.7 | 4. 関心がない | 1.4 |

問 2 5 あなたの近所づきあいは、次のうちどれにもっとも近いですか。

- | | |
|---|------|
| 1. 近所づきあいはあまりしていない。話をしたり助けあったりするの職場の友人とか同じ趣味の友人だけである | 27.2 |
| 2. ある程度近所づきあいをしている。しかし近所の人の生活についてあまり知らないし、自分のこともあまり話さない | 58.4 |
| 3. お互いの生活をかなり知りあうぐらいに近所づきあいをしている | 14.4 |

問 2 6 あなたにとって次の（ア）～（カ）のような気持ちや考えはどの程度あてはまりますか。

	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あてはまらないあまり	あてはまらないまったく
（ア） まごまごしていると、他人に追い越されそうな不安を感じる	4.3	18.3	22.7	34.7	19.9
（イ） 理由もなく何か不安に思うことがある	5.2	28.2	15.9	31.0	19.7
（ウ） たいした理由もなくかっとなることがある	1.8	13.8	19.9	34.5	29.9
（エ） 他人のまちがいにすぐ腹を立ててしまう	2.4	18.1	26.9	37.6	15.0
（オ） 何かしようとするとき、それをする他の人たちがどう思うかと考えてしまう	6.4	38.6	21.4	24.3	9.3
（カ） 自分の考えが周りの人たちと違うと、やはり自分のほうがおかしいのかと思うことがある	2.2	18.7	30.1	36.8	12.1

問 2 7 次の（ア）～（イ）のことがらは、あなたにとってどのくらい重要ですか。

	重要である	やや重要である	重要でないあまり	重要でない
（ア） 高い収入を得ること	19.7	54.6	21.9	3.8
（イ） 高い地位につくこと	2.9	24.4	49.5	23.2

問 2 8 あなたは生活全体に満足ですか、それとも不満ですか。

- | | | | |
|------------------|------|-------------------|------|
| 1. 満足している | 12.9 | 2. どちらかといえば満足している | 59.0 |
| 3. どちらかといえば不満である | 23.8 | 4. 不満である | 4.3 |

問 2 9 仮に現在の日本の社会全体を、この中のように 5 つの層に分けるとすれば、あなたご自身は、このどれに入りますか。

1. 上 **0.8** 2. 中の上 **26.7** 3. 中の下 **48.1** 4. 下の上 **20.4** 5. 下の下 **3.9**

問 3 0 あなたは男性ですか、女性ですか。

1. 男性 **49.0** 2. 女性 **51.0**

問 3 1 あなたは現在何歳ですか。

問 3 2 あなたは現在お住まいの市区に、通算で何年住んでいますか。 平均 **29** 年

問 3 3 あなたは現在、配偶者（夫または妻）の方がいらっしゃいますか。

1. いる **70.6** 2. 現在はいない（離別・死別） **12.0** 3. 未婚 **17.4**

問 3 4 あなたが最後に卒業した学校はどちらですか。

1. 中学校 **14.3** 2. 高校 **46.2** 3. 短大・高専 **13.0**
4. 大学・大学院 **26.6**

問 3 5 あなたの現在のお仕事・職業についておうかがいします。

（1）あなたは、現在どのような形でお仕事をしていますか。

1. フルタイム雇用者（常時雇用者） **25.4**
2. パート・アルバイト・臨時雇用者（契約社員・派遣社員）・嘱託 **20.8**
3. 自営業主 **8.2**
4. 家族の経営する会社や事業の従業員・手伝い **3.8**
5. 会社の経営者・役員 **3.1**
6. 現在仕事をしていない **36.7**
7. 学生 **1.8**

（2）あなたは、現在どのような仕事をしていますか。

1. 専門職（弁護士、医師、芸術家、スポーツ選手、宗教家、税理士、研究者、など） **5.3**
2. 専門・技術職（教員、看護師、エンジニア、保育士、社会福祉士、など） **26.4**
3. 管理職（会社役員、課長以上の管理職、議員、駅長、など） **9.2**
4. 事務職（総務・企画事務、経理事務、営業事務、ワープロオペレータ、校正、など） **16.6**
5. 販売職（小売店主、販売店員、セールスマン、外交員、外回りの営業など） **14.7**
6. 生産工程・労務職（大工、工場作業員、建築作業員、清掃員、トラック運転手など） **15.9**
7. サービス職（料理人、理容師、クリーニング職、ウェ이터、タクシー運転手、など） **11.3**
8. 保安職（警官、自衛官、守衛、など） **0.7**
9. 農林漁業（農業、畜産、林業、漁業、植木職、造園師、など） **0.0**

(4) あなたのお勤め先の従業員・職員は全体でどれくらいですか。支社・営業所だけでなく、会社全体の従業員数をお答えください。

1. 1～29 人（自営・小企業）	38.3	2. 30～99 人	13.1
3. 100～999 人	22.1	4. 1000 人以上（大企業）	21.0
5. 官公庁・独立行政法人	5.5		

問 3 6 次にあげる団体やグループとのかかわりはどの程度ですか。

	参加している	加入はしている	加入していない
(ア) 自治会・町内会	15.0	59.5	25.5
(イ) 労働組合	1.9	10.6	87.5
(ウ) 同業者組合・商店会・商工会	1.6	6.9	91.5
(エ) 政党・政治家の後援会	1.5	8.2	90.2
(オ) 趣味・教養・学習のための団体・サークル	16.3	16.8	66.9
(カ) 宗教や信仰に関する団体・サークル	5.6	7.3	87.0
(キ) 自然保護・環境保護団体・サークル	1.3	2.1	96.5
(ク) ボランティア団体	4.0	7.4	88.6
(ケ) その他	0.7	0.9	98.4

問 3 7 過去一年間のお宅（生計をとめている家族全体）の収入は税込みで次のどれにあたりますか。ほかの家族の方の収入も含めてお答えください。

1. なし（0 円）	1.9	2. 300 万円未満	25.2
3. 300 万～600 万円未満	38.1	4. 600 万～900 万円未満	15.4
5. 900 万～1200 万円未満	8.5	6. 1200 万～1500 万円未満	4.6
7. 1500 万円以上	2.4	8. わからない	3.8